

新事業共創プラットフォーム運営事業委託業務 質問と回答

令和6年8月7日

質 問	回 答
<p>① 本プロジェクトにて成し遂げたいビジョンやKGIについて、仕様書上では方向性は見えたものの世界観が十分に掴めなかったです。定性/定量どちらの観点でも大丈夫なので、お伺いしたいです。難しい場合は何を期待するかをもう少し噛み砕いてもらえると嬉しいです。 特に今回のプロジェクト期間は半年なので、まずはこの半年で何を成し遂げたいのか。(その先に令和7年度以降には1年間で仕様を出す場合はそこも見据えたうえで)</p>	<p>本事業では、様々なステークホルダーが組織の枠を超え分野横断的な支援体制を構築し、スタートアップといった枠組みにとらわれず、幅広い分野で本県に地に足を付け地域と共に成長をしていく新事業が創出されることを目指します。 令和6年度まずは、プラットフォームの構築により本県で新たな挑戦を支援する土壌の基礎を整え、ロールモデルとなる新事業が数件創出されることを期待します。令和7年度以降は、さらに新規事業創出の実績を増やし、本県が「挑戦に近い山梨」の価値を確たるものにするすることで、将来的には挑戦者と支援者が能動的につながり、新たな事業が次々と生まれるイノベーション・エコシステムが形成されることを目指します。</p>
<p>② コアメンバーの構成や、相談者など本プロジェクトに参画するステークホルダーの方々は現在山梨に拠点を持つ方をイメージしていますか。もしくは県外の方をイメージしていますか。 県外の方を積極的に巻き込みたい、誘致したいイメージなのか、県内の人材や企業等を巻き込んでいくイメージなのかお伺いしたいです。</p>	<p>本事業では幅広い分野で本県に地に足を付け地域と共に成長をしていく新事業の創出を目指すため、コアメンバーなどの支援者は主に県内の方を想定しています。一方、こういった新事業を行う企業等が持続的に成長していくためには、県外のステークホルダーと連携していくことも重要と考えているため、県外の支援者の参画も想定しています。 相談者においても、まずは県内の方をしっかりと掘り起こすことが重要だと考えていますが、現在本県に拠点を持たない方でも、新たに山梨で地に足を付けて事業に挑戦をしたい方であれば、支援の対象とする想定です。</p>
<p>③ 本事業を出すに至った経緯や背景、他の共創関連のプロジェクトが別の所管から出ている中で何を狙いに行っているのか、その中で何を課題だと感じて公示に至ったのかなどをお伺いしたいです。</p>	<p>本事業の狙いなどは上記①のとおりです。 また、今まで産業化の支援が十分でなかった分野(防災、福祉等)にも支援の裾野を広げ、分野にとらわれず、あらゆる挑戦を支援する体制を構築したいと考えております。</p>
<p>④ ベンチマークとしている他の行政等の取り組み事例などがあればお伺いできると嬉しいです</p>	<p>ベンチマークとしている取り組み事例などは特段ございません。</p>